

第26回

日本MH大賞 応募のご案内

日本MH大賞は、わが国のMH(マテリアル・ハンドリング)に関わる技術・理論などの更なる向上を目的とし、個人・グループ・企業の優れた研究・開発や改善・合理化を顕彰し、その業績を称え関連企業の振興を図ると共に、広く普及ならびに啓発するものであります。
この機会をご活用いただき、皆様の積極的な応募をお待ちしております。



主催：日本MH協会

協賛：(一社)日本運搬車両機器協会、(一社)日本物流システム機器協会、(公社)日本包装技術協会

日本MH大賞応募要領

応募区分および賞



候補対象

日本国内の企業・団体・学校・研究機関などによるMHに関わる研究・開発や改善・合理化で、平成28年4月から平成30年3月までにMHシステム・機器および情報システムにおいて、実用化または実用化が予定されるもの。

応募方法

- 下記資料を日本MH協会「日本MH大賞係」までご送付願います。
1. 申込書は、当協会ホームページからダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上ご送付願います。
協賛団体からの応募は当該団体経由でお願いします。
 2. 応募内容の効果が解る資料(例えばカタログ、関連データ、論文、構成図、写真など)を各2部ご送付願います。

応募資格

会員、非会員を問わずどなたでも応募できます。
特に協賛団体からの応募も大歓迎いたします。

応募の締め切り

平成30年4月20日(金)



日本MH大賞応募のご案内

日本MH大賞は、故下地亀松氏(当協会元顧問)の当協会およびわが国のMH業界に対する多年の功績を記念して、1987年(昭和62年)に発足した顕彰制度「下地賞」が基礎になっております。平成18年の日本MH協会創立50周年を機に従来からある「優良MH機器ならびにシステム大賞」と一体化し、より充実した権威のある顕彰制度であります。

審査の方法／選考結果

ご提出いただきました申込書、資料ならびに業績説明に基づき、日本MH大賞選考委員会において、その効果を「新規性」「機能性」「将来性」「経済性」「環境性」「安全性」「省エネ性」などを総合的に選考委員会(高橋輝男早大名誉教授他数名の有識者)で審査いたします。

選考結果は平成30年5月中旬にお知らせいたします。

応募内容の説明会

選考委員会において、応募内容のご説明をお願いいたします。スケジュールについては後日ご案内いたします。

受賞された方の特典

1. 当協会が参画する展示会などでの発表ができます。併せて受賞内容のパネル展示ができます。
2. 協会ホームページおよび協会機関誌「MHジャーナル」で受賞作品を掲載をします。
3. 受賞内容を日刊工業新聞をはじめ物流関連誌・紙にニュースリリースいたします。

受賞された方へのお願い

1. 平成30年5月23日の通常総会にて表彰いたしますので、表彰式へのご出席をお願いいたします。
2. 非会員の方は日本MH協会への入会をお願いします。

前回(第25回)の受賞社

(敬称略)

【大賞】

● 電動アシスト台車

「高度で、高価なシステムを求めるとは、機械の原点である機械が人を助けると考えた、シンプルなアイデアが評価されました。」
西部電機株式会社

【優秀賞】

● 倉庫作業分析ツール「ろじたん」

株式会社 日通総合研究所

【奨励賞】

● トラック輸送の積載効率を最大200%に向上!

ティ・エス・ケイ株式会社

● 物流の「安心・安全・快適」

株式会社 カナツ

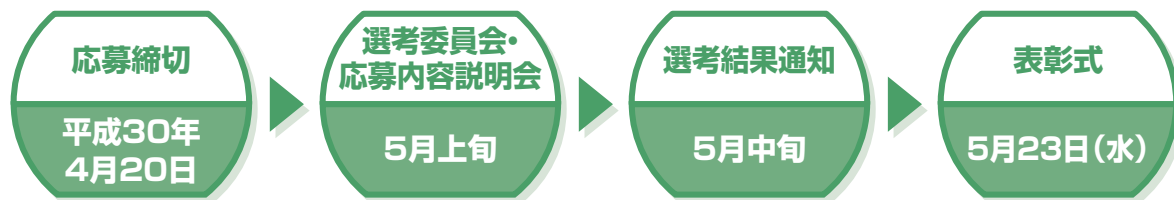
● 機能と使いやすさを徹底追及した次世代キャリア“CC-101KB”

株式会社 ナンシン

その他

- 受賞者発表前の審査状況や応募者などのお問い合わせにつきましては、お答えできないことを予めご了承ください。
- 応募は無料ですが、申請に伴う資料作成や送料などは応募者のご負担をお願いいたします。
- 応募にあたってご提出いただいた書類・資料などはご返却いたしませんので予めご了解下さい。
- 1社当り複数の応募も可能です。

スケジュール(予定)



ご送付先・お問い合わせ先

日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会 「日本MH大賞」係

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL : 03-3543-9335 FAX : 03-3543-8970

<http://www.jmhs.gr.jp/>



日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会
Japan Material Handling Society